わたしの街の社協紹介

貫校区社会福祉協議会

生活理念『**ありがとうの町貫校区**』の達成にむけ①**自然に感謝**②**人生はふれあい支えあいの道**③**安全安心の町で助け合う**を基本指針として、地域住民による「まちづくり」を進めています。

九千人余りが住む貫校区は、長野岩海・長野城址・企救富士と呼ばれる貫山の麓に位置し、住宅と田畑の混在する自然豊かな活力ある町です。

貫校区社会福祉協議会は、嶋津光敏会長のリーダーシップのもと、心豊かに安全で安心して暮らせるまちづくりの構築を目指しています。

貫校区社協の「ふれあいネットワーク事業」では、連絡調整会議を毎月開催し、十二町内の会長を始め福祉協力員・ニーズ対応員が七十～八十名参加し、研修及び話し合い等に取り組んでいます。

―連絡調整会議を利用した研修会―

研修会では、「認知症について」「骨粗しょう症」「転倒予防」等を学び、活動者にとっての資質向上だけでなく、見守り活動の際、要支援者に情報を提供することで、コミュニケーションづくりのきっかけにもなっています。

―みんなで参加！盆踊り大会―

また、子どもの通学への見守りと挨拶、中高校生等のシンナー乱用防止パトロール等にも取り組んでいます。

さらに、全住民参加による盆踊り大会・グランドゴルフ大会・ふれあい文化祭・歩こう会・体育祭・貫山登山・長野縁日祭等々イベントを実施し、人の輪と和を広げています。

貫校区社会福祉協議会は、これからも自治連合会・まちづくり協議会など関係団体や、洗心保育園・瞳幼稚園・貫保育所・貫小学校とも協力し合いながら、人の輪・交流・協調・協働の精神で、社協の理念「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指すとともに『ありがとうの町貫校区』の定着を図ります。